

中部縦貫自動車道（^{ひらゆ}平湯～^{ひよも}日面）
第3回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

令和5年2月3日

目次

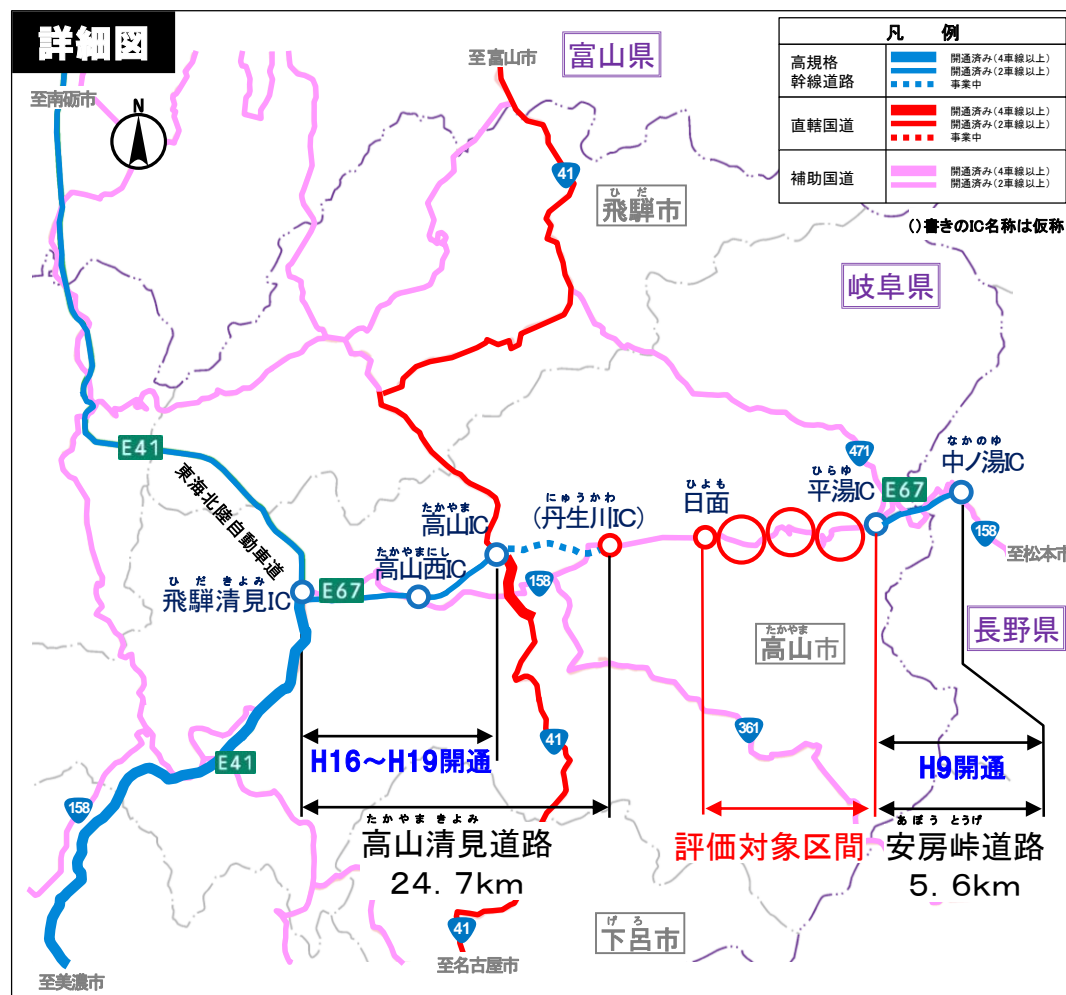
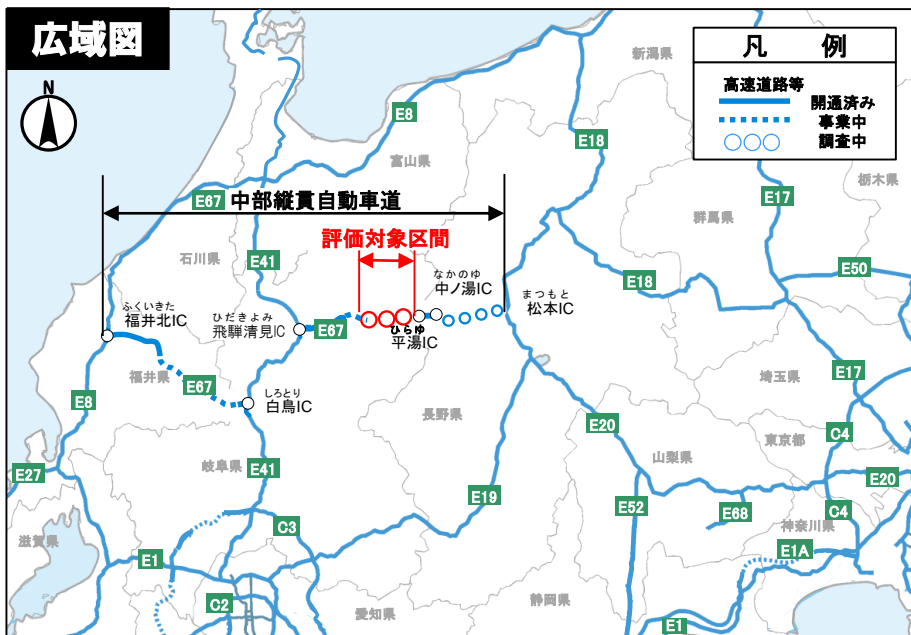
1. 検討の流れ	・ ・ ・ ・ 2
2. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・ ・ 9
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・ ・ 21
4. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・ ・ 27
5. 対応方針（案）まとめ	・ ・ ・ ・ 30

1. 検討の流れ

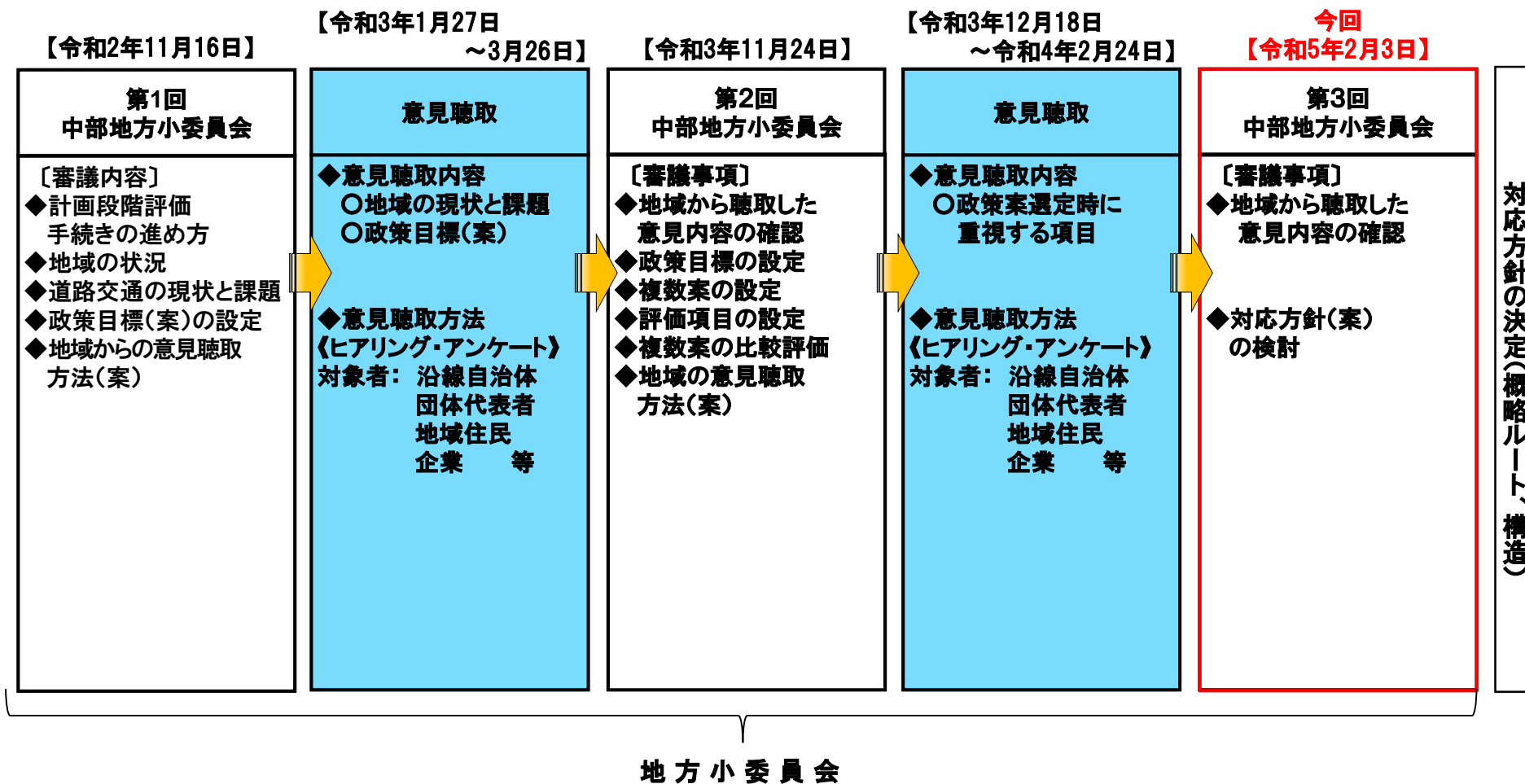
1. 検討の流れ 1-1)計画段階評価区間

■ 中部縦貫自動車道は、長野県松本市～福井県福井市に至る延長約160km（東海北陸自動車道を除く）を結ぶ高規格幹線道路。

■ 評価対象区間は、高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面を結ぶ区間。

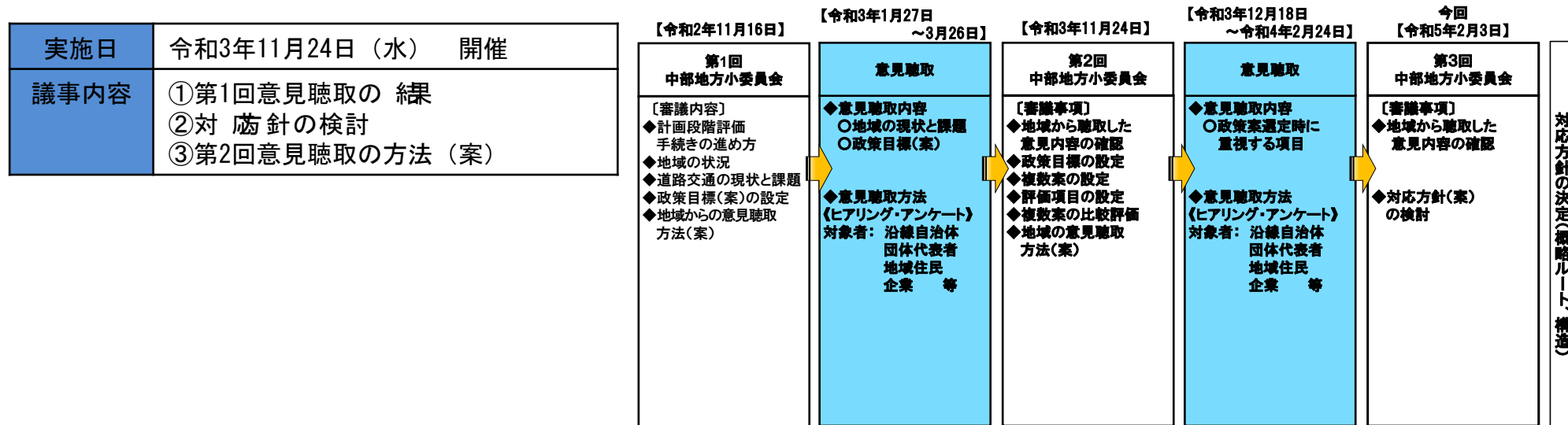


1. 検討の流れ 1-2)計画段階評価手続きの進め方



1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容①

■ 令和3年度 第2回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会の概要



■ 前回審議での主なご意見と対応状況

指摘事項	対 応 状 況	該 当 箇 所
<ul style="list-style-type: none"> アンケート実施の際に、 璣 の課題や各対策案のコン セプトが伝わるように、分かりやすく記載した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 璣 の課題が伝わるように資料レイアウトを調整し、イラストや写真を掲載。 璣 の課題を分かりやすく表 現、対策案のコン セプトについて補足説明を掲載。 	P6、 P7
<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回意見聴取 経緯 について、簡潔な表 現にするなど、分かりやすくなるように工夫した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング 経緯 の意見を集約整理し、文字サイズや行間を広げて分かりやすい文章に修正。 	P8
<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取 経緯 について、利用方向別（ 東西方向 ）の分析も検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「岐阜県方面→長野県方面」 「長野県方面→岐阜県方面」の利用方向別で意見を集計し、意見聴取 経緯 を整理。 	P17

【指摘事項】アンケート実施の際に、現道の課題や各対策案のコンセプトが伝わるように、分かりやすく記載した方がよい。

【対応状況】現道の課題が伝わるように資料レイアウトを調整し、イラストや写真を掲載。

■意見聴取時における説明資料の工夫(国道158号が抱える課題)

<変更前: 前回審議時提示(案)>

中部縦貫自動車道(平湯～日面)に並行する国道158号が抱える課題

課題 高速道路等が未整備

課題 救急搬送に時間が必要

時期	所要時間(分)
通常期	81
冬季	87

課題 積雪時には、走りやすさや安全性が低下

課題 災害時の通行止の際、代替路がない

<変更後: 第2回意見聴取>

現道の課題が伝わるように資料レイアウトを調整し、イラストや写真を掲載

課題 積雪時には、走りやすさや安全性が低下

課題 災害時の通行止の際、代替路がない

年	通行規制回数(箇所/年)
H29	1
H30	2
R1	0
R2	6
R3	4

【指摘事項】アンケート実施の際に、現道の課題や各対策案のコンセプトが伝わるように、分かりやすく記載した方がよい。

【対応状況】現道の課題を分かりやすく表現し、対策案のコンセプトについて補足説明を掲載。

■意見聴取時における説明資料の工夫(現況のイメージ・各ルート帯案の整備イメージ)

<変更前:前回審議時提示(案)>

現況のイメージ	各ルート帯案の整備イメージ		
<p>産業・救急・安全・防災の面で課題がある</p> <p>急カーブ区間 平湯トンネル 急カーブ区間 急勾配区間 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案①全線バイパス案</p> <p>全線を自動車専用道路でバイパス整備する案</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案②現道改良+バイパス案</p> <p>西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案③現道改良案</p> <p>国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>



<変更後:第2回意見聴取>

現道の課題を分かりやすく表現し、対策案のコンセプトについて補足説明を掲載

現況のイメージ	各ルート帯案の整備イメージ		
<p>産業・救急・安全・防災の面で課題がある</p> <p>積雪量が多く、急勾配・急カーブが存在するため、積雪時の危険性が高い区間</p> <p>急カーブ区間 平湯トンネル 急カーブ区間 急勾配区間 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案①全線バイパス案</p> <p>全線を自動車専用道路でバイパス整備する案</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案②現道改良+バイパス案</p> <p>西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案</p> <p>積雪時の課題が大きい東側をバイパス整備</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>	<p>案③現道改良案</p> <p>国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案</p> <p>平湯トンネル 平湯 国道158号 日面</p>

【指摘事項】第1回意見聴取結果について、簡潔な表現にするなど、分かりやすくなるように工夫した方がよい。
 【対応状況】ヒアリング結果の意見を集約整理し、文字サイズや行間を広げて分かりやすい文章に修正。

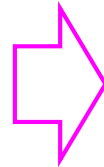
■意見聴取時における説明資料の工夫(第1回意見聴取ヒアリング結果)

<変更前: 前回審議時提示(案)>

<変更後: 第2回意見聴取>

(2) ヒアリング結果

区分 (政策目標(案))	主な意見
【産業】 速達性・定時性の向上による 産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は、所要時間がかかるとともにカーブ区間が多いため、他の道路を通行した方が利便性が高い。(福井県トラック協会会員企業) ・国道158号は、石川から関東方面に向う場合のルートとして想定していない。冬季は雪による通行止めの心配がある。東海北陸道の飛驒トンネルで危険物積載車両が通行できないため、輸送ルートにしておらず、長野方面に大きく迂回している会員企業もある。(石川県トラック協会) ・北陸地方から首都圏への最短ルートであり、首都圏と飛驒地域を結ぶ主要道路として早期の整備を強く望む。(商工会) ・当該区間は地域住民にとっては大切な生活道路であるが、信州や関東圏等からの方にとっては観光や産業の基幹道路と利用されているため、通年安全で安心して利用できる交通網として中部縦貫道の早期完成を期待している。(コンベンション協会) ・国道158号は、松本市までの重要な道路であり、首都圏に行くためにも重要な路線であるので、早期に改良してほしい。中部縦貫自動車道を早期に完成させて首都圏からのアクセスを良くしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側については道路改良はされているものの、縦断勾配がきつく、カーブが多いため、救急搬送の安定性に課題。特に冬季は安全性に不安があり、スリップ事故やスタック車両による渋滞が発生するため、搬送に時間を要する。(高山市) ・積雪時においては、万全かつ迅速な凍結対策及び除雪を行っていただき、救急搬送時の通行性を確保してほしい。(松本広域消防局) ・救急搬送にあたり、この区間は急カーブや急勾配など危険箇所が多くあり、冬期間を含めた安全性の確保とともに、災害時にも確実に通行できるネットワークの確保を望む。(飛驒市)
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側はカーブ区間や急勾配箇所が多く、積雪が多いため圧雪状態となりスタックする車が多く、特に冬季は危険である。(飛驒市) ・カーブが多く、冬は特に危険。ノーマルタイヤの事故が多い。(高山署) ・カーブが多いため大型車とのすれ違いの際、危険を感じることがあり、特に冬場は積雪量も多く急こう配のためスリップすることもあり危険である。(商工会) ・国道158号沿いにある宿泊施設まで温泉をタンクローリーで週一程度配湯しているが、急カーブ等があり走行しにくい。(温泉組合) ・冬季間は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い。カーブが多く、急こう配な坂のため走行しにくい。(旅館ホテル協同組合) ・事故多発箇所を避けるような道路。(高山署)
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨では沿線で大規模な土石流や法面決壊などの道路災害が発生し、一時通行が出来なくなり、平湯地域は孤立状態、温泉街の観光客は帰省出来ないなど、大きな影響が発生した。(岐阜県) ・当区間は7月豪雨において被災し、長期間通行止めとなり、迂回路がないため通勤通学など日常生活に大きな支障が生じた。また、応復旧後の片側交互通行により、休日等は大変混雑し、観光客のイメージダウンにつながった。(高山市) ・昨年、豪雨のため土砂崩れがあり通行止めになったので、安全を確保してほしい。災害時迂回路がないので、常に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)



(2) ヒアリング結果

区分 (政策目標(案))	主な意見
【産業】 速達性・定時性の向上による 産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は所要時間がかかるため、他の道路を通行した方が便利。(福井県トラック協会会員企業) ・国道158号は雪による通行止めの心配がある。(石川県トラック協会) ・早期に完成させて首都圏からのアクセスを良くしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側は、縦断勾配がきつく、カーブが多いため、特に冬季は救急搬送の安定性に課題。(高山市) ・積雪時の救急搬送時の通行性を確保してほしい。(松本広域消防局)
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側は、カーブ区間や急勾配が多く、特に冬季は危険。(飛驒市) ・積雪量も多く、急勾配のためスリップすることもあり危険。(商工会) ・冬季は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い。カーブが多く、急勾配な坂のため走行しにくい。(旅館ホテル協同組合)
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨により、平湯地域は孤立状態、温泉街の観光客は帰省出来ないなど、大きな影響が発生。(岐阜県) ・当区間は令和2年7月豪雨において被災し、長期間通行止めとなり、迂回路がないため通勤通学など日常生活に大きな支障が生じた。(高山市) ・災害時の迂回路がないので、常に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)

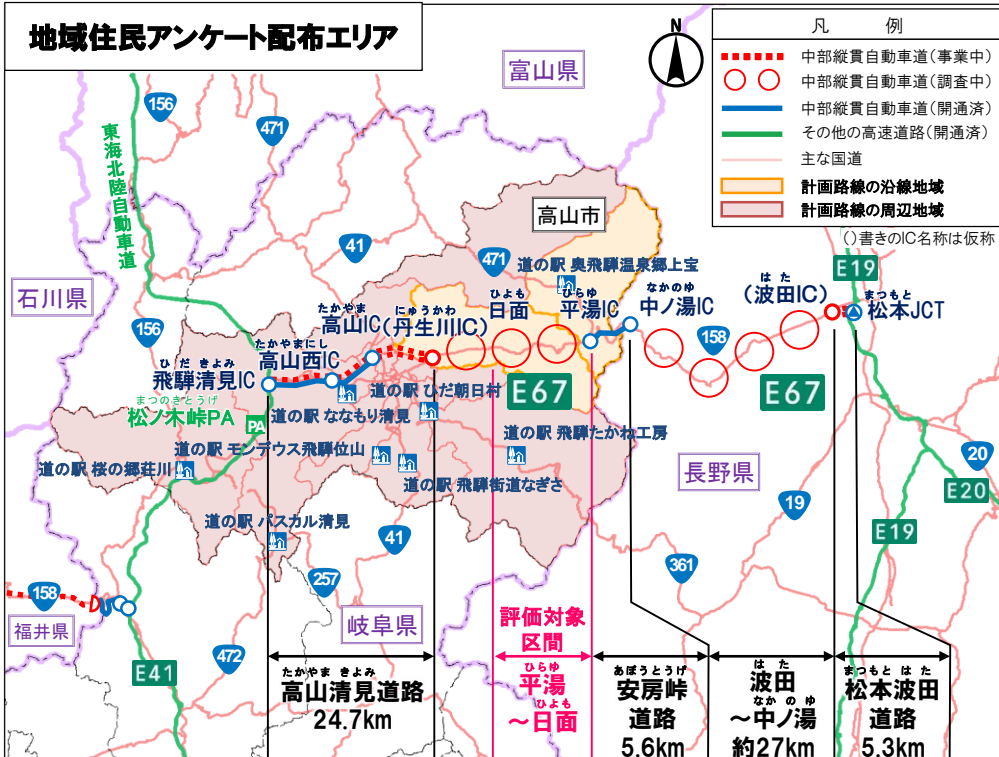
2.第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果 2-1)意見聴取の概要①

- 意見聴取の期間は、令和3年12月18日(土)～令和4年2月24日(木)。
- 地域住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

●第2回意見聴取の概要

調査項目		対象	配布数	回収数	回収率
地域住民アンケート(※1)	沿線住民	郵送アンケート(全戸配布) ・概ねのルート帯が通過する地域(高山市丹生川小学校区、折尾小学校区在住の方)	2,000	834 ※WEB回答含む	42%
	周辺住民	郵送アンケート(全戸配布) ・上記以外の高山市内在住の方	34,000	8,154 ※WEB回答含む	24%
小計			36,000	8,988	25%
道路利用者アンケート	WEB	ホームページバナー/リンク 2次元バーコード	—	464	—
		登録モニター	—	1,200	—
	留め置きアンケート	道の駅(高山市8箇所、福井県5箇所、長野県2箇所)	—	77	—
		・東海北陸自動車のPA(1箇所) ・飛騨・高山観光コンベンション協会中橋観光案内所	—	77	—
小計			—	1,741	—
地域の業務上利用者	郵送アンケート	・高山商工会議所会員企業 ・飛騨・高山観光コンベンション協会会員企業 ・飛騨高山温泉組合員企業 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合員企業 ・飛騨農業協同組合員企業	—	191	—
小計			—	191	—
合計			—	10,920	—
地方公共団体ヒアリング		・岐阜県、高山市、飛騨市、下呂市、松本市			
ヒアリング	各種団体ヒアリング	経済・産業団体ヒアリング	・高山商工会議所・神岡商工会議所 ・飛騨・高山観光コンベンション協会 ・飛騨高山温泉組合 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合 ・飛騨農業協同組合・濃飛乗合自動車 ・トラック協会(岐阜県、富山県、長野県) ・トラック協会会員企業(石川県、福井県) ・全国旅行業協会岐阜県支部 ・日本旅行業協会中部事務局	—	—
		県警・消防ヒアリング	・高山警察署 ・高山市消防本部 ・松本市消防本部	—	—



周知方法：記者発表、ポスター掲示、高山市広報誌、高山国道事務所HP等へのバナー貼り付け

配布方法：①地域住民アンケートは、全戸配布 ※Webアンケートも回答可能
②道路利用者アンケートは、「道の駅」やPA、観光案内所へアンケート用紙設置 別途Webアンケート実施

回収方法：①郵便ポストへの投函
②「道の駅」等に投函ボックスを設置

期間：約2ヶ月 (令和3年12月18日(土)～令和4年2月24日(木))

留め置きアンケート設置箇所：

・道の駅	高山市	ななもり清見、飛騨たかね工房、飛騨街道なぎさ、桜の郷 荘川、モンテウス飛騨位山、バスカル清見、ひだ朝日村、奥飛騨温泉郷上宝
	福井県	一乗谷あさくら水の駅、九頭竜、榊の里、恐竜溪谷かつやま、越前おのおの荒島の郷
	長野県	風穴の里、今井恵の里
・高速道路PA	松ノ木峠PA	
・観光案内所	飛騨・高山観光コンベンション協会中橋観光案内所	

(※1) 住民アンケートを分析した結果、上記の沿線地域と周辺地域で、国道158号の利用状況に相違が見られたため(P14参照)、住民を沿線住民と周辺住民に分割表示

2. 第2回意見聴取の結果 2-1)意見聴取の概要②

- 地域住民や道路利用者に対して、道の駅等にポスター掲示をして広く周知を行いつつ、郵送配布によるアンケートや高山国道事務所等のホームページ上にアンケート回答ページを設置。
- これらに併せて、道の駅や高速道路PA、観光案内所へアンケートブースを設置。

■ポスター掲示

道路計画に関するご意見をお聞かせください
中部縦貫自動車道(平湯～日面)の計画に関する第2回アンケート

アンケートの回答は、下記より、アンケートWebページにアクセスしていただき、アンケートWebページ内に記載の承認コードにて回答してください。

アンケートのご回答は、令和4年2月24日(木)までにお願いたします。※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ
国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所 計画課
〒506-0255 岐阜県高山市上野町7-425
TEL:0577-36-3822 (FAX:0577-36-5811)
ホームページ:https://www.chubu.riksa.go.jp/tokuyama/index.html

■アンケート郵送

道路計画に関するご意見をお聞かせください
中部縦貫自動車道(平湯～日面)の計画に関する第2回アンケート

アンケートの答え方は2をご覧ください。

郵便によるご回答は、令和4年2月24日(木)までにお願いいたします。※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ
〒506-0255 岐阜県高山市上野町7-425
TEL:0577-36-3822 (FAX:0577-36-5811)
http://www.chubu.riksa.go.jp/tokuyama/index.html

【参考】中部縦貫自動車道(平湯～日面)整備前後のイメージ

中部縦貫自動車道(平湯～日面)に於ける整備158号が抱える課題

整備前後のイメージ

整備後イメージ

整備後イメージ

整備後イメージ

整備後イメージ

■アンケートブース設置



■HP上でのアンケート回答ページ設置

中部縦貫自動車道(平湯～日面)計画に関するアンケート調査

アンケート実施期間
令和3年12月18日(土)～令和4年2月24日(木)
※回答受付終了:21分

質問内容		■地域の課題を解決するために、以下のような対策案(3つの比較案)を検討しています。対策案について、ハガキの質問事項をお答えください。		
評価軸	案① 全線バイパス案	案② 必要バイパス案	案③ 環状バイパス案	
評価軸	全線が自動車専用道路でバイパス整備する案	暫行バイパス整備 東部は自動車専用道路でバイパス整備する案	環状バイパス整備 環状バイパス整備する案	
必要となる機能	ルート選定のポイント	約17km	約18km	約20km
①交通性・定時性の向上による安全性の向上	道路幅員が向上すること 経路へのアクセス性が向上すること	全線が自動車専用道路であるため定時性に優れる 暫行バイパス整備による 環状バイパス整備による	環状バイパス整備による 環状バイパス整備による	環状バイパス整備による 環状バイパス整備による
②救急医療機関へのアクセスの向上	救急医療機関へのアクセスが向上すること	救急医療機関までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る 環状バイパス整備による	救急医療機関までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る 環状バイパス整備による	救急医療機関までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る 環状バイパス整備による
③交通安全、地味等の向上	環状バイパス整備による 安全性が向上すること	環状バイパス整備による 安全性が向上すること	環状バイパス整備による 安全性が向上すること	環状バイパス整備による 安全性が向上すること
④周辺に居住する住民への影響	環状バイパス整備による 騒音等の影響が軽減される	環状バイパス整備による 騒音等の影響が軽減される	環状バイパス整備による 騒音等の影響が軽減される	環状バイパス整備による 騒音等の影響が軽減される

＜アンケート説明資料＞

郵便はがき

料金を収入用紙
112

受取人
岐阜県高山市
上岡本町7丁目425番地
国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 計画課 行

〒506-0255 岐阜県高山市上野町7-425

問1-1.ご回答された方について教えてください。【記入または番号を選択】

性別 高山市 ()
性別 1.男性 2.女性
年齢 1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代

問1-2. 道路幅員が向上することについて教えてください。【1つ選択】
1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度
4. ほぼ利用しない 5. 全く利用しない

問1-3. 国道158号(平湯～日面)の利用頻度を教えてください。【1つ選択】
1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度
4. ほぼ利用しない 5. 全く利用しない

問1-4. 国道158号(平湯～日面)を利用する主な目的を教えてください。【1つ選択】
1. 仕事 2. 通学 3. 日常的な買い物 4. 通院
5. 観光レジャー 6. その他 ()

問1-5. 「問1-5」のうち1つを主目的とさせていただきますか?
() 都・道・府・県 () 市・区・町・村 ()

＜アンケート回答用紙＞

問2. この地域(中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺)において、望ましいルート形案を考えた際に重要だと思うことは何ですか。

以下4段階で評価してください。【1つ選択】
4. 強く思う 3. どちらかというと思う
2. どちらかというと思う 1. 全く思わない

評価項目・配慮するポイント	あなたの評価 評価値	評価値		
① 定時性が向上すること	4	3	2	1
② 観光地へのアクセス性が向上すること	4	3	2	1
③ 救急医療機関へのアクセスが向上すること	4	3	2	1
④ 道路幅員が向上すること	4	3	2	1
⑤ 環状バイパスの安全性が向上すること	4	3	2	1
⑥ 通行止めになりにくい道路であること	4	3	2	1
⑦ 既存集落で居住等の移転が発生しないこと	4	3	2	1
⑧ 自然環境を破壊しないこと	4	3	2	1
⑨ 道路をつくる費用が安いこと	4	3	2	1

※その他(自由回答)

問3. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見を添えてください。(自由回答)

ご協力ありがとうございます。

■アンケートでは、ルート帯案を検討する際に重視すべき事項、配慮すべき事項を聴き取るための内容を設定。

ルート帯案を検討する上での「重視すべき事項」、「配慮すべき事項」を確認

○対策案を検討する上での重視すべき事項

定時性が向上すること

観光地へのアクセス性が向上すること

救急医療施設への速達性が向上すること

道路線形がよくなり安全性が向上すること

積雪時の走行性が向上すること

通行止めになりにくい道路であること

○対策案を検討する上での配慮すべき事項

生活環境への配慮

自然環境への配慮

経済性への配慮

●質問事項

質問1:この地域(中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。

以下の①～⑨の項目について、4段階で評価してください。

その他ご意見があれば⑩に記入してください

【4段階評価】

4. 強くそう思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全くそう思わない

①定時性が向上すること

②観光地へのアクセス性が向上すること

③救急医療施設への速達性が向上すること

④道路線形がよくなり安全性が向上すること

⑤積雪時の走行性が向上すること

⑥通行止めになりにくい道路であること

⑦既存集落で住居等の移転が発生しないこと

⑧自然環境を改変しないこと

⑨道路をつくる費用が安いこと

⑩その他(自由回答)

○上記以外の「道路整備の必要性や今後の方向性に関する意見」を確認

質問2:この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

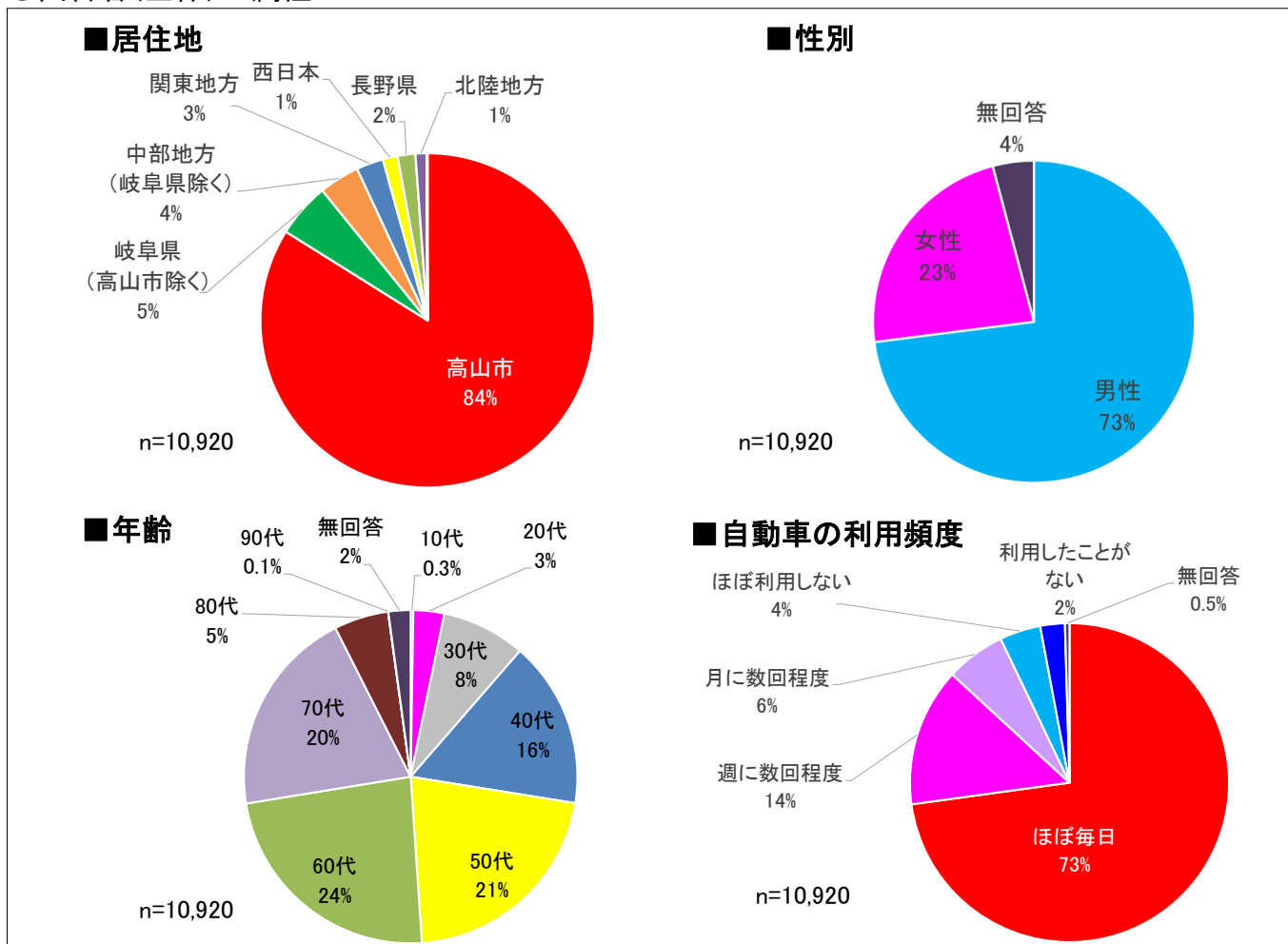
2. 第2回意見聴取の結果 2-2)回答者属性

- 沿線住民834人、周辺住民8,154人、広域利用者1,741人、地域の業務上利用者191団体から意見聴取を実施。
- 回答者の居住地は、高山市内が8割以上を占めており、また、岐阜県(高山市除く)や関東地方、北陸地方など多方面からの意見を得られた。
- 回答者は男性の割合が約7割であり、年齢はどの年代からも意見を得られた。
- 回答者の自動車利用頻度は、約7割が「ほぼ毎日」利用と回答。

●第2回意見聴取のアンケート回収状況

分類		回収数
地域住民	沿線住民	834
	周辺住民	8,154
	小計	8,988
道路利用者	広域利用者	1,741
	地域の業務上利用者	191
合計		10,920

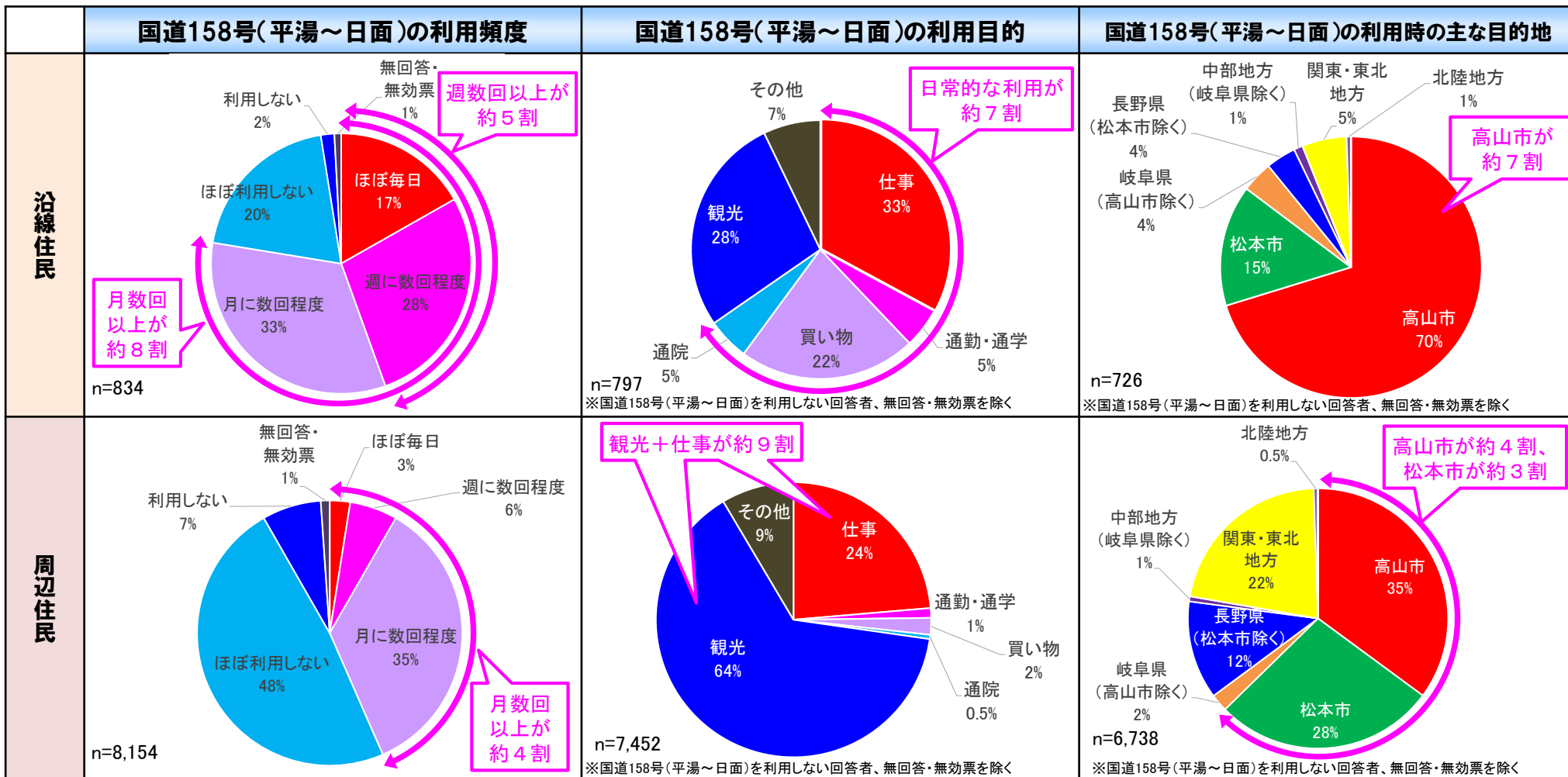
●回答者(全体)の属性



2. 第2回意見聴取の結果 2-3)回答者の国道158号の利用状況①

- 沿線住民は、約8割が月数回以上、約5割が週数回以上利用し、利用目的は通勤・通学や通院を含め「日常的な利用」が約7割、高山市を目的地とする利用が約7割と多い。
- 周辺住民は、約4割が月数回以上利用し、利用目的は「観光」と「仕事」を含め約9割、目的地は高山市が約4割、松本市が約3割。

●沿線住民と周辺住民の国道158号(平湯～日面)の利用状況

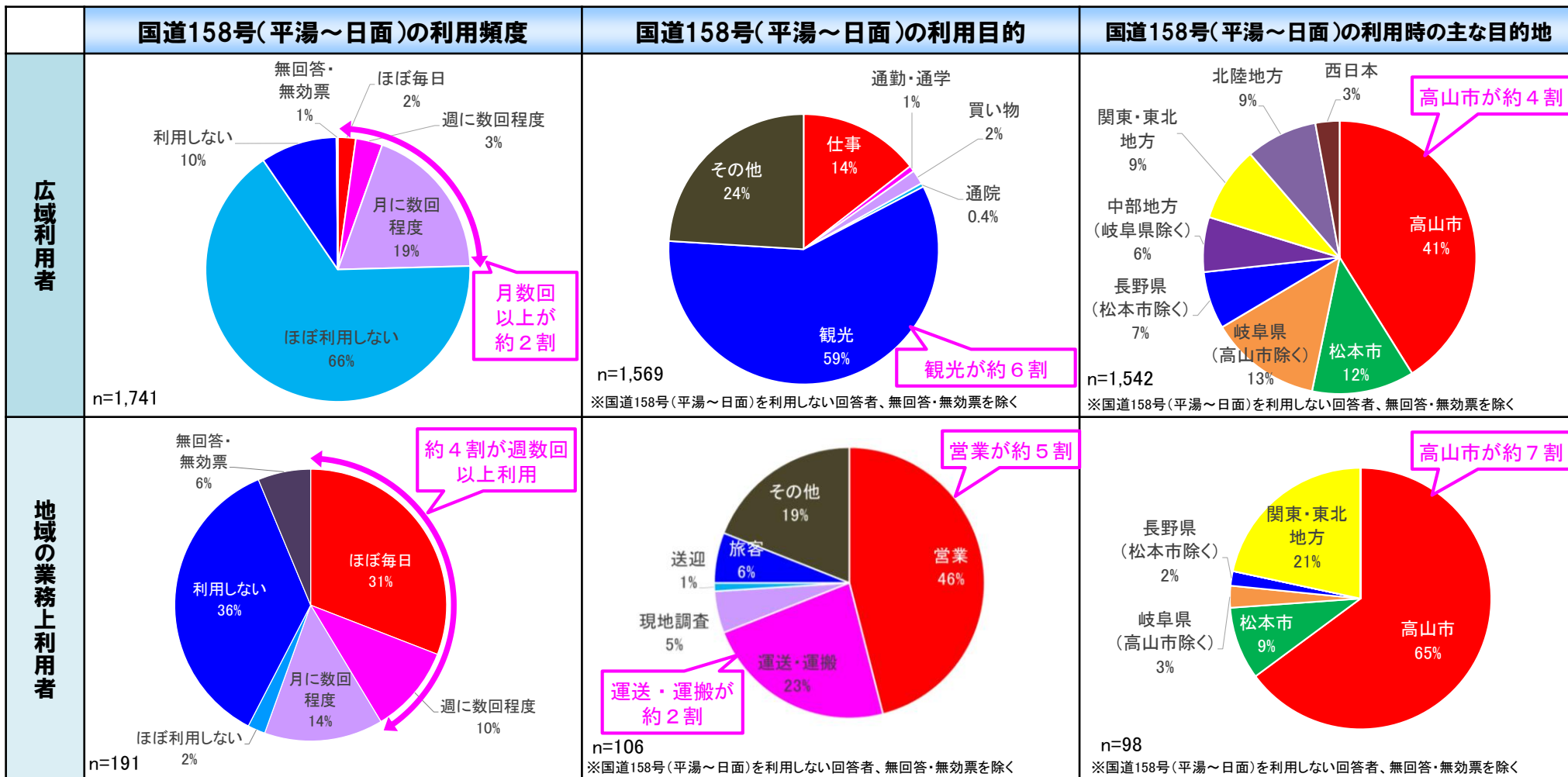


2. 第2回意見聴取の結果 2-3)回答者の国道158号の利用状況②

■広域利用者は、約2割が月数回以上利用し、「観光」を目的とする利用が約6割と多く、目的地は高山市が約4割、松本市、岐阜県（高山市除く）が1割以上。

■地域の業務上利用者は、約4割が週数回以上利用し、利用目的は「営業」が約5割、「運送・運搬」が約2割と多く、目的地は高山市が約7割で、関東・東北方面も一定量存在。

●広域利用者と地域の業務上利用者の国道158号(平湯～日面)の利用状況



2. 第2回意見聴取の結果 2-4)ルート帯案に関すること(全属性)

- 沿線住民、周辺住民、地域の業務上利用者において「③救急医療施設への速達性が向上すること」「④道路線形がよくなり安全性が向上すること」「⑤積雪時の走行性が向上すること」「⑥通行止めになりにくい道路であること」を重視する意見が9割以上と多く、また、広域利用者においても、重視する意見が9割近くと多い。
- 上記以外に、沿線住民では「①定時性が向上すること」、地域の業務上利用者では「①定時性が向上すること」「②観光地へのアクセス性が向上すること」を重視する意見が9割以上と多い。

●ルート帯案を検討する際に重要だと思う事項

質問事項		沿線住民 n=834	周辺住民 n=8,154	広域利用者 n=1,741	地域の業務上利用者 n=191
重視すべき事項 速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	①定時性が向上すること	64% 90% 26%	50% 88% 38%	34% 81% 47%	60% 95% 35%
	②観光地へのアクセス性が向上すること	59% 89% 30%	56% 88% 32%	42% 86% 44%	61% 91% 30%
重視すべき事項 救急搬送時の速達性・安定性の確保	③救急医療施設への速達性が向上すること	85% 96% 11%	76% 95% 19%	42% 84% 42%	75% 95% 20%
重視すべき事項 交通安全、積雪時の走行性の向上	④道路線形がよくなり安全性が向上すること	79% 96% 17%	75% 95% 20%	49% 88% 39%	79% 96% 17%
	⑤積雪時の走行性が向上すること	81% 96% 15%	78% 96% 18%	48% 85% 37%	82% 97% 15%
重視すべき事項 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	⑥通行止めになりにくい道路であること	81% 96% 15%	72% 94% 22%	48% 87% 39%	76% 97% 21%
配慮すべき事項	⑦既存集落で住居等の移転が発生しないこと	45% 79% 34%	30% 72% 42%	23% 70% 47%	38% 75% 37%
	⑧自然環境を改変しないこと	44% 79% 35%	38% 78% 40%	27% 72% 45%	47% 81% 34%
	⑨道路をつくる費用が安いこと	32% 61% 29%	25% 61% 36%	20% 65% 45%	28% 62% 34%

■ 強くそう思う
 ■ どちらかというと思う
 ■ どちらかというと思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 未回答

: 9割以上が重視すると回答があった項目

2. 第2回意見聴取の結果 2-4)ルート帯案に関すること(利用方向別) 国土交通省

■広域利用者のうち、「岐阜県方面⇔長野県方面(県境跨ぎ)」の利用者は両方向ともに「②観光地へのアクセス性が向上すること」「④道路線形がよくなり安全性が向上すること」「⑤積雪時の走行性が向上すること」「⑥通行止めになりにくい道路であること」を重視する意見が9割以上と多い。

●ルート帯案を検討する際に重要だと思う事項

質問事項		<広域利用者> 岐阜県方面→長野県方面(県境跨ぎ) 利用者 n=311	<広域利用者> 長野県方面→岐阜県方面(県境跨ぎ) 利用者 n=336	
重視すべき事項	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	①定時性が向上すること	47% 88% 41% 9% 3%	49% 91% 42% 7% 2%
		②観光地へのアクセス性が向上すること	54% 91% 37% 9% 1%	54% 90% 36% 9% 2%
	救急搬送時の速達性・安定性の確保	③救急医療施設への速達性が向上すること	53% 89% 36% 9% 2%	56% 91% 35% 7% 2%
		交通安全、積雪時の走行性の向上	④道路線形がよくなり安全性が向上すること	64% 96% 32% 4% 1%
	⑤積雪時の走行性が向上すること		67% 93% 26% 3% 1%	66% 93% 27% 6% 1%
	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	⑥通行止めになりにくい道路であること	68% 94% 26% 5% 1%	66% 95% 29% 4% 1%
配慮すべき事項	生活環境への影響	⑦既存集落で住居等の移転が発生しないこと	30% 71% 41% 22% 6%	26% 72% 46% 21% 6%
	自然環境への影響	⑧自然環境を改変しないこと	31% 74% 43% 21% 5%	31% 74% 43% 20% 6%
	経済性への配慮	⑨道路をつくる費用が安いこと	21% 61% 40% 28% 10% 1%	24% 62% 38% 24% 13%

■強く思う ■どちらかというと思う ■どちらかというと思わない ■全く思わない ■未回答 ■ : 9割以上が重視すると回答があった項目

※ 国道158号(平湯～日面)の利用者を東西方向目的地別に集計

2. 第2回意見聴取の結果 2-5)アンケート自由意見

- 自由回答では、沿線住民が385件、周辺住民が3,085件、広域利用者が660件、地域の業務上利用者が75件の合計4,205件の意見が寄せられた。
- 寄せられた主な意見としては、ルート帯案の検討で重視・配慮すべき事項に該当する意見の他、中部縦貫自動車道（平湯～日面）の早期実現や中間インターチェンジの整備に関する意見が多かった。

ルート帯案に関する意見	重視すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東方面への移動に時間短縮が望まれ、産業の発展に寄与する。（高山市/70代男性） ・ 通勤、通学、通院で毎日使う人にとって、定時性が向上し、利便性が良くなると思う。（高山市/30代女性） ・ 平湯温泉等の日本を代表する観光地のため、より安全に走れる道路は重要である。外国人観光客誘致には定時性向上が有利。（各務原市/40代男性） ・ 住民の通勤、日常生活に無くてはならないし、観光客の安全、短時間のアクセスにも、大変重要な道路。（飛騨市/50代男性） ・ 上宝、奥飛騨地域は病院まで1時間かかるため少しでも早く市内へ出られるようにしてほしい。（高山市/20代女性） ・ 救急緊急車両の走行安全、速達性など、まず命を確保する事が優先だと思います。（高山市/70代女性） ・ 通年通行可能な安全な道路 災害、雪害に強い道路を望む。（高山市/サービス業） ・ 観光で高山市内に行くときに神経をつかいますので、急カーブや坂道の少ない安全で安心な道路整備が必要かと思う。（富山市/60代男性） ・ 豪雨による通行止めや大雪による事故が度々起こる区間なので、トンネルによる代替道路の整備を望む。（松本市/20代男性） ・ 近年、大雨による災害で道路が通行止めになる事があり、今後も増加すると予想されるので、災害に強い道路を早く造ってほしい。（高山市/宿泊業） ・ 土砂災害やなだれの危険性から、災害時などの緊急時にも通行可能な道路としてほしい。（高山市/60代男性）
	配慮すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化が進まないように、居住地の移転が発生しないような整備。（高山市/20代男性） ・ 現在の道路を改良しながらも極力民家からは離れた箇所に新しいルートを設置して下さい。（高山市/70代男性） ・ 五色ヶ原など、貴重な森林の自然環境を壊さないことが第一だと考えます。（高山市/製造業） ・ お金をかけず、緊急時に安全に走行できることが必要。（高山市/40代女性） ・ ランニングコスト（維持費）を特に考えてほしい。（高山市/建設業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期の通行確保、国道158号の混雑解消、他県との交流促進のため、ICは日面、久手、平湯に必要。（高山市/70代男性） ・ 乗鞍岳へのアクセスのため丹生川町久手にインターの設置がされると良いと思う。（高山市/40代男性） ・ スマートインターなどを設け、地元のアクセスを良くしてほしい。（高山市/製造業） <p>※その他、道路機能・構造等の課題、計画の早期実現等、同意見多数</p>	

2. 第2回意見聴取の結果 2-6)ヒアリング結果

- 重視すべき事項、配慮すべき事項について、多くの意見が関係機関から得られた。
- また、中部縦貫自動車道（平湯～日面）の早期実現や中間インターチェンジの整備に関する意見も寄せられた。

●ルート帯案を検討する際に重視・配慮すべき事項

評価項目		必要な道路の機能	ヒアリング意見
重視すべき事項	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	広域移動にかかる速達性・定時性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されず、確実に納期までに納められるように、定時性を確保した道路を整備してほしい。（農業協同組合） ・長距離の輸送をする場合には時間短縮に繋がる。（岐阜県トラック協会）
	救急搬送時の速達性・安定性の確保	観光地の速達性・周遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・走行性・安全性の高い道路が整備されることで、観光客が気楽に来てもらえる。所要時間も今より短くなれば、広くPRできる。（高山市/観光協会） ・道路整備により、旅行のスケジュールが正確に作成でき、冬期でも多くの旅行コースが出来る。（日本旅行業協会）
	交通安全、積雪時の走行性の向上	高度な医療を提供する病院への速達性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療施設への搬送時間が短縮されることが重要。（松本市/消防） ・奥飛騨温泉郷から近くの総合病院は高山市内しかなく1時間かかる。救急搬送時に安全に短時間で病院に行けることが重要。（高山市/自治体）
		線形不良区間の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は、道路の線形が悪く、ドライバーは神経をすく使う。輸送時間が短縮されれば運転手の負担が改善される。（農業協同組合） ・線形不良箇所等が解消され、交通渋滞や物流停滞が解消されることを望む。（松本市/自治体）
	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	積雪時における走行性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪時には、警察車両や救急車といった緊急車両の到着も遅れる。奥飛騨に行く際に神岡の方から迂回すると時間がかかる。（高山市/警察） ・現在は走行することが少ないが、冬季期間の走行性が向上、雪に強い道路となれば関東方面へ輸送ができる。（福井県トラック協会会員企業） ・大雪時にはスタックの車で、松本方面への高速バスが巻き込まれて通れなくなった。積雪時は大型車同士のすれ違いが困難な箇所がある。（高山市/バス会社）
配慮すべき事項	生活環境への影響	災害時における移動確実性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害による通行止めが社会生活に大きな影響を及ぼしており、豪雨や地震時にも通行止になりにくい道路が必要。（岐阜県/自治体） ・岐阜・長野の県境付近は災害による通行止が多発し、広域観光、物流等に大きな影響をもたらすため、広域道路ネットワーク構築が必要。（松本市/自治体） ・年間を通して安全に通行でき、災害に強い道路として広域的な道路を望む。（下呂市/自治体）
	自然環境への影響		<ul style="list-style-type: none"> ・当該道路の整備により利便性が向上することで、移転による過疎化が進行することを、地域と協力して防ぎたい。（高山市/自治体）
	経済性への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・五色ヶ原や乗鞍岳など国立自然公園として地域活性化に取り組んでいるため自然環境に配慮した整備をお願いする。（高山市/観光協会） ・自然を活かした観光地であるため、自然環境を改変しないことが重要。（高山市/バス会社）
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍スカイラインはマイカー規制を実施しており、ほうのき平の駐車場からバスを利用して乗鞍岳へのお客が増えるとうい。（高山市/バス会社） ・観光施設へのアクセスがうまくできる位置に中間インターを設置していただければ、地域活性化にもつながる。（高山市/観光協会） ・観光、救急、防災等、地域課題の解消に対して、丹生川町久手付近には、インターチェンジを設置していただきたい。（高山市/自治体） ・久手～平湯へのトンネルは、危険物車両が通行できるようにしてほしい。（飛騨市/商工会） ・当該区間の整備は、防災・減災、国土強靱化にも資することから、道路計画を早期に策定し一日も早い事業化が必要。（岐阜県/自治体）

2. 第2回意見聴取の結果 2-7)まとめ

■ アンケート結果やヒアリング結果から、ルート帯案を検討する際に重視すべき事項、配慮すべき事項について以下の通り確認ができた。

● ルート帯案を検討する際に重視・配慮すべき事項

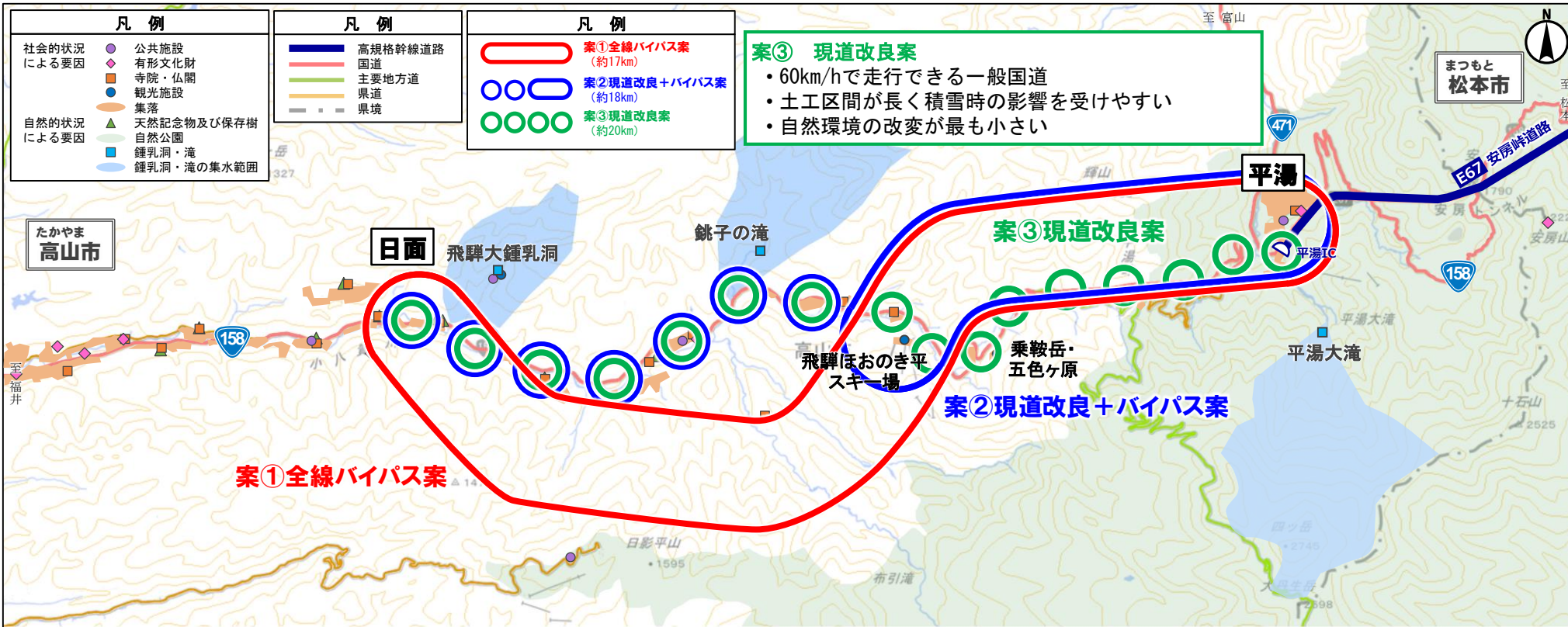
質問事項		沿線住民 n=834	周辺住民 n=8,154	広域利用者 n=1,741	地域の業務上利用者 n=191	ヒアリング結果	重視・配慮すべき事項	
重視すべき事項	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	① 定時性が向上すること	64% 90% 26%	50% 88% 38%	34% 81% 47%	60% 95% 35%	・広域的な移動の時間短縮により、定時性を確保した道路であることが重要。	○
		② 観光地へのアクセス性が向上すること	59% 89% 30%	56% 88% 32%	42% 86% 44%	61% 91% 30%	・観光地への所要時間の短縮、周遊観光に寄与することが重要。	○
	救急搬送時の速達性・安定性の確保	③ 救急医療施設への速達性が向上すること	85% 96% 11%	76% 95% 19%	42% 84% 42%	75% 95% 20%	・救急医療施設への搬送時間の短縮や搬送時の安全性を確保することが重要。	○
		交通安全、積雪時の走行性の向上	④ 道路線形がよくなり安全性が向上すること	79% 96% 17%	75% 95% 20%	49% 88% 39%	79% 96% 17%	・線形不良箇所が解消され、利用者の負担が改善されることが重要。
	⑤ 積雪時の走行性が向上すること		81% 96% 15%	78% 96% 18%	48% 85% 37%	82% 97% 15%	・大雪時の走行不良を解消し、走行性を向上させることが重要。	○
	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	⑥ 通行止めになりにくい道路であること	81% 96% 15%	72% 94% 22%	48% 87% 39%	76% 97% 21%	・豪雨などの災害時に通行止めになりにくく、広域道路ネットワークを確保することが重要。	○
配慮すべき事項	生活環境への影響	⑦ 既存集落で住居等の移転が発生しないこと	45% 79% 34%	30% 72% 42%	23% 70% 47%	38% 75% 37%	・移転による過疎化の進行など、地域の生活影響への配慮が重要。	
	自然環境への影響	⑧ 自然環境を改変しないこと	44% 79% 35%	38% 78% 40%	27% 72% 45%	47% 81% 34%	・自然環境（動植物等）に配慮し、改変が少ないルート及び工法であることが重要。	
	経済性への配慮	⑨ 道路をつくる費用が安いこと	32% 61% 29%	25% 61% 36%	20% 65% 45%	28% 62% 34%	・ランニングコストや費用対効果が見込めることが重要。	
その他 (自由意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート・構造の詳細検討時に重視・配慮すべき項目に関する意見 ・利便性向上のための接続機能に関する意見 ・早期整備を望む意見 					<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利便性向上のため、インターチェンジ設置。 ・早期事業化が必要。 		

■ 強く思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ 全く思わない ■ 未回答

3.対応方針（原案）の検討

3. 対応方針(原案)の検討 3-1)ルート帯案の検討

- バイパス区間は設計速度80km/hの自動車専用道路とし、現道改良区間については設計速度を60km/hに設定。
- バイパス区間(案①、案②)は、鍾乳洞・滝への影響に配慮するため、鍾乳洞・滝の集水範囲を回避。
- 現道改良区間(案②、案③)は、国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良。



案③ 現道改良案

- ・60km/hで走行できる一般国道
- ・土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい
- ・自然環境の改変が最も小さい

案① 全線バイパス案

- ・80km/hで走行できる自動車専用道路
- ・主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

案② 現道改良+バイパス案

【バイパス区間】

- ・80km/hで走行できる自動車専用道路
- ・主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

【現道改良区間】

- ・60km/hで走行できる一般国道
- ・土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい

3. 対応方針(原案)の検討 3-2)ルート帯案の比較検討

■意見聴取にてルート帯案を検討する際に重視すべき事項に基づき比較すると【案①全線バイパス案】が最も優位である。

評価軸			案① 全線バイパス案	案② 現道改良+バイパス案	案③ 現道改良案	
			全線を自動車専用道路でバイパス整備する案	西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案	国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案	
必要な道路の機能		ルート選定のポイント	約17km	約18km	約20km	
政策目標	○速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	広域移動にかかる速達性・定時性の向上	全線が自動車専用道路であるため定時性に最も優れる	自動車専用道路区間は定時性に優れる	現道を活用するため、他案に比べて定時性に劣る	
		観光地の速達性・周遊性の向上	観光地へのアクセス性が向上すること	全線バイパス整備のため、アクセス性は、他案に比べて劣る	現道改良区間はアクセス性がよい	全線で現道を活用するため、アクセス性は最もよい
	○救急搬送時の速達性・安定性の確保	高度な医療を提供する病院への速達性の向上	救急医療施設への速達性が向上すること	救急医療施設までの時間短縮が最も見込まれる (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:10分短縮)*	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:7分短縮)*	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、他案に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:3分短縮)*
	○交通安全、積雪時の走行性の向上	線形不良区間の解消	道路線形がよくなり安全性が向上すること	規格の高い自動車専用道路ができることで、安全性向上が最も見込まれる	東側は規格の高い自動車専用道路ができ、西側は現道の安全性向上が見込まれるが、案①に比べて劣る	現道の急カーブがなくなり、安全性向上が見込まれるが、他案に比べて劣る
		積雪時における走行性の確保	積雪時の走行性が向上すること	線形がよく、主にトンネル構造を想定しているため、積雪時の走行性向上が最も見込まれる	自動車専用道路区間は積雪時の走行性向上が見込まれる 現道改良区間は土工部が多く、案①に比べて積雪時の走行性に劣る	線形はよいが、土工区間が多く、他案に比べて積雪時の走行性に劣る
	○被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時における移動確実性の確保	通行止めになりにくい道路であること	全線バイパス整備により代替路を確保	バイパス区間は代替路を確保 現道改良区間は、代替路が確保されない	全線で現道を活用するため、代替路が確保されないことから、他案に比べて劣る
配慮事項	環境への影響	生活環境への影響	既存集落で住居等の移転が発生しないこと	バイパス整備により、現道沿いの集落を回避するため、影響は最も少ない	バイパス区間は、現道沿いの集落を回避するため、影響は少ない	全線で現道を活用するため、他案に比べて劣る
		自然環境への影響	自然環境を改変しないこと	主にトンネル構造を想定しているため、改変が限定的であるが、他案に比べて劣る	自然環境の改変は限定的であるが、案③に比べて劣る	全線で現道を活用するため、最も自然環境の改変が小さい
	経済性への配慮			約1,500億円～約1,700億円	約1,100億円～約1,300億円	約900億円～約1,100億円

* (現況)ETC2.0データ[R3.1平日]における速度、(案①)80km/h、(案②)バイパス区間80km/h、現道改良区間60km/h、(案③)60km/hとする

□ : 意見聴取結果を踏まえた重視すべき事項、配慮すべき事項 □ : 他の案と比較し優位な事項

3. 対応方針(原案)の検討 3-3)中間インターチェンジの検討

- 政策目標や意見聴取結果を踏まえ、中間インターチェンジの必要性を検討。
- 産業、救急、安全、防災の観点で地域の利便性、移動確実性の向上のため、国道158号（現道）との接続や、地域拠点とのアクセス性に配慮して、中間インターチェンジを設置。

■中間インターチェンジの必要性の検討

政策目標

【産業】
速達性・定時性の向上
による産業活性化の支援

【救急】
救急搬送時の速達性・
安定性の確保

【安全】
交通安全、積雪時の
走行性の向上

【防災】
被災時にも機能する信頼性の
高いネットワークの確保

中間ICの 必要性

- ・広域移動にかかる速達性・定時性の向上
- ・観光地の速達性・周遊性の向上

- ・高度な医療を提供する病院への速達性の向上

- ・積雪時における走行性の確保

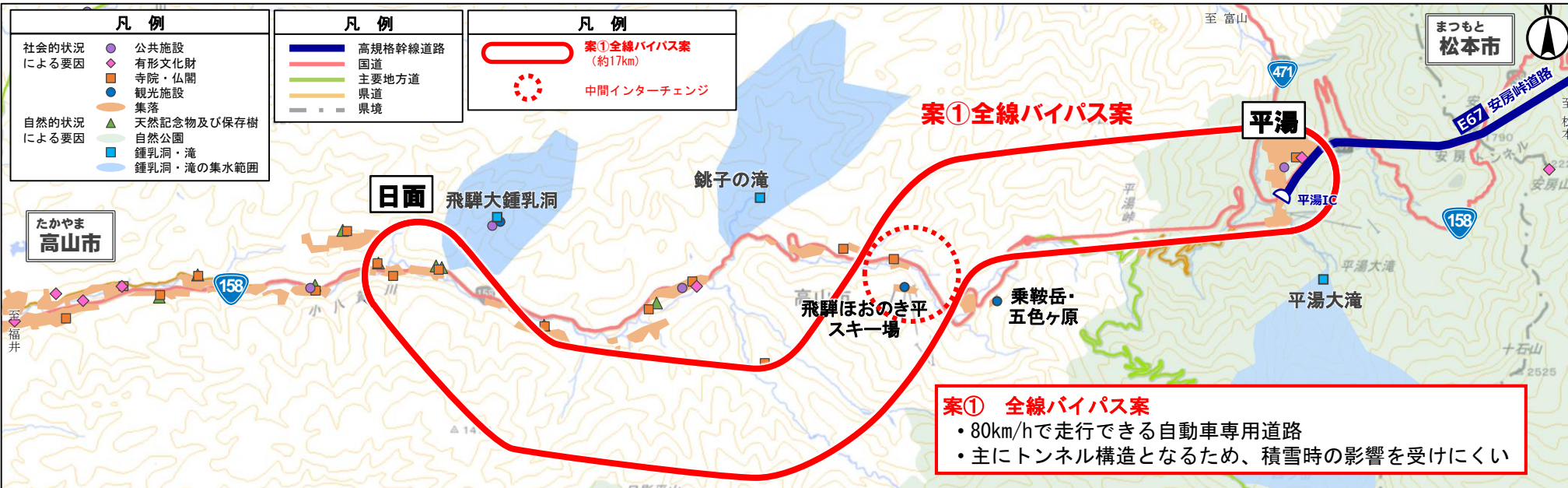
- ・災害時における移動確実性の確保

中間IC に関する 意見

- ・乗鞍岳や飛騨ほおのき平スキー場などの観光施設への到着時間が短縮され、アクセス性が向上することで、地域の活性化に寄与する。

- ・高度な医療が受けられる医療機関への救急搬送の時間短縮、急登坂や急カーブを避け、患者への負担軽減に寄与する。

- ・大雪、大雨による災害等で国道が通行止めとなり、日常生活の負担となるため、集落が孤立とにならないよう、代替路の確保ができ、安全性、信頼性の高いネットワークを確保する。



■道路事業の必要性

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

- 速達性・定時性の向上による産業活性化の支援
- 救急搬送時の速達性・安定性の確保
- 交通安全、積雪時の走行性の向上
- 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保



地域の意見聴取の結果

【ルート帯案の検討における重視すべき事項】

- 定時性が向上すること
- 観光地へのアクセス性が向上すること
- 救急医療施設への速達性が向上すること
- 道路線形がよくなり安全性が向上すること
- 積雪時の走行性が向上すること
- 通行止めになりにくい道路であること

【道路のアクセス強化に求められる機能(意見)】

- 利便性、移動確実性向上のための中間インターチェンジ設置

■対応方針(原案)

【対策案について】

速達性・定時性の向上、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全・積雪時の走行性の向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保が最も期待できる【案① 全線バイパス案】とする。

【理由】

- 広域移動にかかる速達性・定時性が向上する
- 救急搬送時の速達性・安定性が向上する
- 交通安全、積雪時の走行性が向上する
- 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークが確保できる

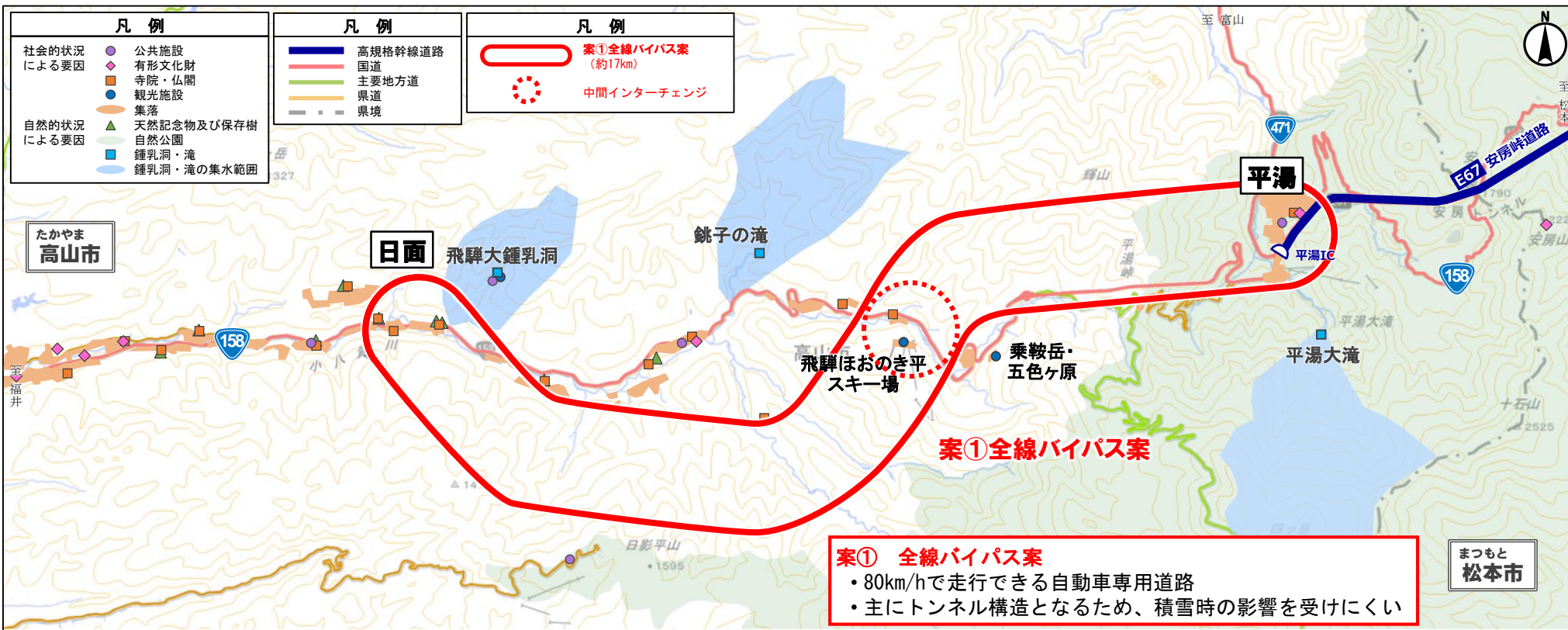
観光地へのアクセス性、救急医療施設への速達性の向上を図り、積雪や災害時における代替路を確保することで、道路の機能向上を図り、地域の利便性向上、移動確実性を一層強化するため、中間インターチェンジを配置する案とする。

■その他

- 具体的な道路構造の検討に際し、生活環境への影響(住居等の移転)、自然環境への影響をできる限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。

3. 対応方針(原案)の検討 3-5)ルート帯案

- 速達性・定時性の向上、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全・積雪時の走行性の向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保が最も期待できる【案① 全線バイパス案】とする。
- 観光地へのアクセス性、救急医療施設への速達性の向上を図り、積雪や災害時における代替路を確保することで、道路の機能向上を図り、地域の利便性向上、移動確実性を一層強化するため、中間インターチェンジを配置する案とする。




4.自治体への意見照会結果

自治体名	意見
岐阜県	<p>中部縦貫自動車道（平湯～日面）の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。</p> <p>本自動車道は、長野自動車道、東海北陸自動車道等を相互に連絡することで物流改善による地域産業の活性化、国内有数の観光地へのアクセス強化による旅行客の増加などが見込まれます。また、関東、中部及び北陸地方の広域のかつ一体的発展を促進するとともに、積雪や災害など有事における広域的な支援、受援及び救急搬送において有効に機能する重要な道路です。</p> <p>中部縦貫自動車道(平湯～日面)の整備効果を最大限発揮させるため、高山市、松本市をはじめとする両県地域の官民が一体となって、多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光ルートに磨き上げる「松本高山Big Bridge 構想」の実現に向けた取組みを行うとともに、アクセス道路となる国道471号の整備を着実に進めてまいります。</p> <p>つきましては、中部縦貫自動車道（平湯～日面）が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いします。</p>

道建第216号
令和5年2月2日

国土交通省中部地方整備局長
稲田 雅裕 様

岐阜県知事 古田 肇 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和5年2月1日付け国部整道計第18号で意見照会がありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

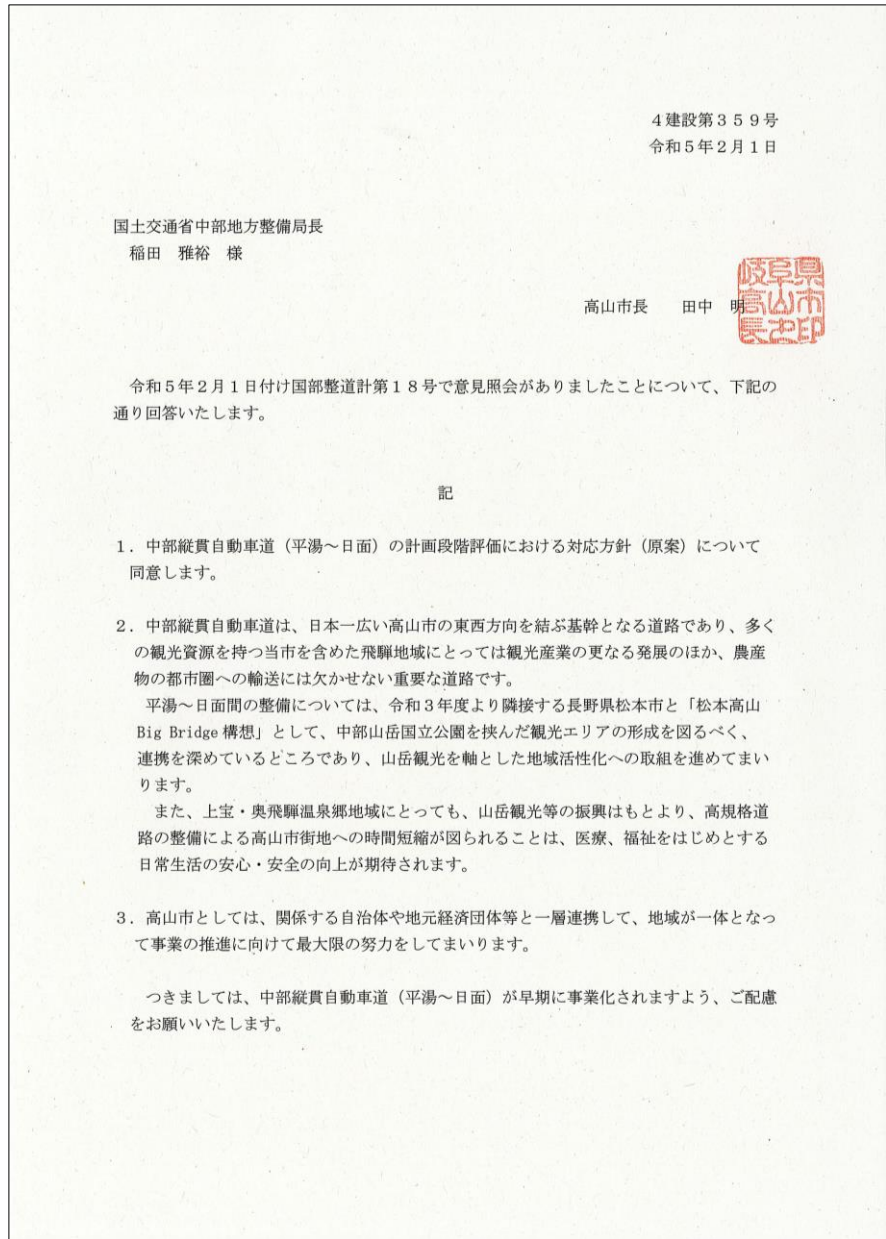
中部縦貫自動車道（平湯～日面）の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。

本自動車道は、長野自動車道、東海北陸自動車道等を相互に連絡することで物流改善による地域産業の活性化、国内有数の観光地へのアクセス強化による旅行客の増加などが見込まれます。また、関東、中部及び北陸地方の広域のかつ一体的発展を促進するとともに、積雪や災害など有事における広域的な支援、受援及び救急搬送において有効に機能する重要な道路です。

中部縦貫自動車道(平湯～日面)の整備効果を最大限発揮させるため、高山市、松本市をはじめとする両県地域の官民が一体となって、多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光ルートに磨き上げる「松本高山Big Bridge 構想」の実現に向けた取組みを行うとともに、アクセス道路となる国道471号の整備を着実に進めてまいります。

つきましては、中部縦貫自動車道（平湯～日面）が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いします。

自治体名	意見
高山市	<p>1. 中部縦貫自動車道（平湯～日面）の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。</p> <p>2. 中部縦貫自動車道は、日本一広い高山市の東西方向を結ぶ基幹となる道路であり、多くの観光資源を持つ当市を含めた飛騨地域にとっては観光産業の更なる発展のほか、農産物の都市圏への輸送には欠かせない重要な道路です。 平湯～日面間の整備については、令和3年度より隣接する長野県松本市と「松本高山Big Bridge構想」として、中部山岳国立公園を挟んだ観光エリアの形成を図るべく、連携を深めているところであり、山岳観光を軸とした地域活性化への取組を進めてまいります。 また、上宝・奥飛騨温泉郷地域にとっても、山岳観光等の振興はもとより、高規格道路の整備による高山市街地への時間短縮が図られることは、医療、福祉をはじめとする日常生活の安心・安全の向上が期待されます。</p> <p>3. 高山市としては、関係する自治体や地元経済団体等と一層連携して、地域が一体となって事業の推進に向けて最大限の努力をしてまいります。</p> <p>つきましては、中部縦貫自動車道（平湯～日面）が早期に事業化されますよう、ご配慮をお願いいたします。</p>



5.対応方針（案）まとめ

5. 対応方針(案)まとめ 5-1)対応方針(案)

- 速達性・定時性の向上、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全・積雪時の走行性の向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保が最も期待できる【案① 全線バイパス案】とする。
- 観光地へのアクセス性、救急医療施設への速達性の向上を図り、積雪や災害時における代替路を確保することで、道路の機能向上を図り、地域の利便性向上、移動確実性を一層強化するため、中間インターチェンジを配置する案とする。

